様式A-10

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 1 日

都道府県知事　殿

病院名　大津赤十字病院
開設者　日本赤十字社
社長　清家　篤

医師法第 16 条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第９条に基づき、①．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①.基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号１から 27 までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

記入日：西暦 2025 年 4 月 1 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030460	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　大津赤十字病院 番号　030460

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾓﾘ　　ｱﾔｶ 氏名（姓） 森	（名） 彩香	役職　主事 （内線：2521） （直通電話（077）522 － 8410） e-mail：jinji@otsu.jrc.or.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｵｵﾂｾｷｼﾞｭｳｼﾞﾋﾞｮｳｲﾝ 大津赤十字病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒　5　2　0－8　5　1　1　（　滋賀　県） 大津市長等１丁目 1-35 電話：（077）522 － 4131　ＦＡＸ：（077）525 － 8018 二次医療圏の名称：大津
３．病院の開設者の氏名（法人の名称）（基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾆﾎﾝｾｷｼﾞｭｳｼﾞｼｬ 日本赤十字社
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒　1　0　5－8　5　2　1　（　東京　都） 港区芝大門 1-1-3 電話：（03）3438 － 1311　ＦＡＸ：（03）3438 － 1339
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｵｶﾞﾜ　　ｵｻﾑ 姓　小川　／　名　修
６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会の全ての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	https://www.otsu.jrc.or.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：251 名、非常勤（常勤換算）：16 名 計（常勤換算）：267 名、医療法による医師の標準員数：66.78 名 ＊　基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式Ａ－３に記入
10．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 1964 年 4 月 27 日、告示番号：第 129 号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　２．第二次救急医療機関　③．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		①．有　（　226.460　）ｍ²　　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：　25,235 件（うち診療時間外：　21,794 件） １日平均件数：　69.1 件（うち診療時間外：　59.7 件） 救急車取扱件数：　8,052 件（うち診療時間外：　5,286 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：10 名、看護師及び准看護師：7 名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（①．有　０．無）　外科系（①．有　０．無）　小児科（①．有　０．無） その他（循環器科　産婦人科　新生児科　脳神経外科　脳神経内科　）
11．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：672 床、2.精神：0 床、3.感染症：0 床 4.結核：0 床、5.療養：0 床
12．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：10.6 日、2.精神：0 日、3.感染症：0 日 4.結核：0 日、5.療養：0 日
14．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　136　件、異常分娩件数：　220　件
15．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：1 回、今年度見込：3 回　※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入　下に開催した回数を記入
	剖検数		前年度実績：　6　件、今年度見込：　6　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　①．有 ０．無　（　　）大学、（　　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		①．有（単身用：　5　戸、世帯用：　　戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		①．有（　1　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　179　）ｍ²
	医学図書数		国内図書：　7061　冊、国外図書：　3668　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　216　種類、国外雑誌：　259　種類
	図書室の利用可能時間		0：00　～　24：00　　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（①．有　０．無）、教育用コンテンツ（１．有　0.（無）、 その他（　　）
			利用可能時間（　0：00　～　24：00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（①．有　0．無）、 その他（　　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

18. 病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾊｼﾓﾄ　ﾄﾓﾋﾛ 氏名（姓）橋本　氏名（名）智広 役職　課長
	診療に関する諸記録の管理方法		①. 中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　）
	診療録の保存期間		（　5　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　②. 電子媒体 その他（具体的に：　）
19. 医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		①. 有（　1　名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　1　）名、兼任（　5　）名 主な活動内容：例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 「院内において発生した医療事故または発生する危険があった医療事故についての情報収集」
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　ｶｼﾞﾊﾗ　ﾋﾃﾞｷ 氏名（姓）梶原　氏名（名）英輝 役職　医療社会事業課長 対応時間（　8：30　～　17：00　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：　①. 有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①. 有　０．無 指針の主な内容： 医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（　12　）回 活動の主な内容： マニュアル及びレポートの見直し並びに分析
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（　3　）回 研修の主な内容： リスクマネージャー養成ワークショップ研修、全職員対象研修会等
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：　①. 有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容： インシデントレポートの分析を医療安全推進委員会で実施し、改善を周知徹底する。また、ワークショップ等で意識改革をする。
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：14 名 中断：　0 名

21. 現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）	前々年度	前年度	当該年度
１　年	14	14	13
２　年	13	14	14

22. 受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　672　）床÷10＝（　67.2　）名
	患者数から算出		年間入院患者数（　34,576　）人÷100＝（　345.76　）名
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士：　1　名（常勤：　1　名、非常勤：　0　名） 2. 作業療法士：　5　名（常勤：　5　名、非常勤：　0　名） 3. 臨床心理技術者：　2　名（常勤：　2　名、非常勤：　0　名） 9. その他の精神科技術職員： 0　名（常勤：　0　名、非常勤：　0　名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 （基幹型記入） JCEP による評価受審の有無を記載してください。			１．(有)　（　2025 年　1 月　24 日）　０．無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表　１．有　０．(無)

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 （基幹型記入）			＊　別紙５に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名 男性　１年次研修医（　０　）名　２年次研修医（　０　）名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　（①. 有　０. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（ 8 時 00 分 ～ 18 時 00 分）
			病児保育　（１. 有 ⓪. 無） 夜間保育　（①. 有　０. 無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１. 可 ⓪. 不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１. 有 ⓪. 無）
			その他の補助（時間外勤務の免除・緩和、宿日直の免除・緩和）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（①. 有　０. 無） 授乳スペース　（①. 有　０. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有　０. 無 窓口の名称がある場合記入（　） 窓口の専任担当　①. 有（　2　名）　０. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（　） 窓口の専任担当　①. 有（　2　名）　０. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：大津赤十字病院臨床研修プログラム プログラム番号：　030460006
29. 研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：　14　名、２年次：　0　名
30. 研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾓﾘ　ｱﾔｶ 氏名（姓）　森　（名）　彩香 所属　人事課　役職　主事 電話：(077) 522 － 4131　ＦＡＸ：(077) 525 － 8018 e-mail：　jinji@otsu.jrc.or.jp URL：　https://www.otsu.jrc.or.jp/
	資料請求先		住所 〒　520 - 8511 滋賀県大津市長等一丁目 1-35 担当部門　担当者氏名　ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾓﾘ　ｱﾔｶ　姓　森　名　彩香 電話：(077) 522 - 4131　ＦＡＸ：(077) 525 － 8018 e-mail：　jinji@otsu.jrc.or.jp URL：　https://www.otsu.jrc.or.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		①. 公募 ２．その他（具体的に：　　）
	応募必要書類 （複数選択可）		①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 ４．健康診断書、⑤. その他（　CBT 成績表　）
	選考方法 （複数選択可）		①. 面接 ②. 筆記試験 その他（具体的に：　　）
	募集及び選考の時期		募集時期：6 月 1 日頃から 選考時期：8 月 1 日頃から
	マッチング利用の有無		①. 有　０．無
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦 2020 年 4 月 1 日）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式Ａ-２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式Ａ-２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　　ｶﾜﾅﾐ　　ﾁﾊﾙ 氏名 （姓）　河南　　（名）智晴 所属　　役職 消化器科部　　副院長 （副プログラム責任者） ①. 有（1 名）　０．無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
34. インターネットを用いた評価システム			①. 有（ ・EPOC ・その他（　　）　）　０．無
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦 2026 年 4 月 1 日
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		①. 常勤　２．非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み）　二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（350,000 円）　基本手当／月（360,000 円） 賞与／年（　400,000　円）　賞与／年（　400,000　円） 時間外手当：　①. 有　０．無 休日手当　：　①. 有　０．無
	勤務時間		基本的な勤務時間（　8：30　～　17：00　）24 時間表記 休憩時間（　45 分　） 時間外勤務の有無：①. 有　０．無
	休暇		有給休暇（１年次：24 日、２年次：24 日） 夏季休暇（①. 有　０．無） 年末年始（①. 有　０．無） その他休暇（　日本赤十字社創立記念日（　5 月 1 日　）　）
	当直		回数（約 2 回／月）
	研修医の宿舎（再掲）		①. 有（単身用：5 戸、世帯用：0 戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		①. 有（　1　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　日本赤十字社健康保険組合　）
			公的年金保険（　厚生年金　）
			労働者災害補償保険法の適用（①. 有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　⓪. 無）
			雇用保険（①. 有　０．無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年　2　回） その他（　ｶﾞﾗｽﾊﾞｯﾁによる健康管理　ｽﾄﾚｽﾁｪｯｸの実施　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（①．する　０．しない） 個人加入（１．強制　⓪．任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：①．可　０．否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：①．有　０．無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無　（①．有　０．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　8 時 00 分　～　18 時 00 分　）
			病児保育　（１．有　⓪．無） 夜間保育　（①．有　０．無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．可　⓪．不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有　⓪．無）
			その他の補助（　時間外勤務の免除・緩和、宿日直の免除・緩和　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所　（①．有　０．無） 授乳スペース　（①．有　０．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（　）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		①．有　０．無 窓口の名称がある場合記入（　） 窓口の専任担当　①．有（　2 名　）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（　） 窓口の専任担当　①．有（　2 名　）　０．無
37. 研修医手帳（基幹型記入）			①．有　０．無
38. 連携状況（基幹型記入）			＊　様式Ａ－６に記入

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から 26 までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 27 から 37 までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第 21 条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成 10 年６月 26 日付け健政発第 777 号・医薬発第 574 号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第 19 条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第 43 条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式Ａ－３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和 39 年厚生省令第 186 号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365 又は 366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日０時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{\text{1／2（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律○○円、最低○○円から最高○○円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。

24　「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で 1 年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。

25　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。

28　「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、

（１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。

（２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。

（４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

（５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

（６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

29　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

30　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

31　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

33　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

様式Ａ－10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：大津赤十字病院（滋賀県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
滋賀県	大津	(病院施設番号:030460)		滋賀県	大津		医療法人藤樹会 滋賀里病院 (病院施設番号:031711)		滋賀県	大津		医療法人平和の森 ピースホームケアクリニック (病院施設番号:　　)		大津赤十字病院 臨床研修プログラム	14
				滋賀県	大津	追加	滋賀医科大学医学部附属 (病院施設番号:		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険 荘川診療所 (病院施設番号:032821)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険 南高山地域医療センター 久々野拠点診療所 (病院施設番号:　　)			
							(病院施設番号:		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険 清見診療所 (病院施設番号:032824)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険 南高山地域医療センター 朝日地域診療所 (病院施設番号:032838)			
							(病院施設番号:		滋賀県	東近江		医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック			
							(病院施設番号:		滋賀県	大津		大津赤十字志賀病院 (病院施設番号:096969)			
							(病院施設番号:)		岐阜県	飛騨		高山市国民健康保険 南高山地域医療センター 高根地域診療所 (病院施設番号:　　)			
							(病院施設番号:								

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

・高山市国民健康保険 荘川・久々野・清見・朝日・高根診療所：へき地医療の臨床研修協力施設として連携。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、　「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は　「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数　6　回）

病院施設番号：　030460　　臨床研修病院の名称：大津赤十字病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ）カワナミ　チハル 姓）河南　名）智晴	大津赤十字病院	副院長	研修管理委員長 臨床研修プログラム責任者
フリガナ）シノムラ　テツタロウ 姓）篠村　名）徹太郎	大津赤十字病院	副院長	研修管理委員会副委員長
フリガナ）ヤマゾエ　ナオヒロ 姓）山添　名）直博	大津赤十字病院	診療部長	研修管理委員会副委員長 臨床研修副プログラム責任者
フリガナ）ウチヤマ　タツキ 姓）内山　名）達樹	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医 臨床研修副プログラム責任者
フリガナ）オガワ　オサム 姓）小川　名）修	大津赤十字病院	病院長	
フリガナ）ツジ　マサアキ 姓）辻　名）將公	大津赤十字病院	副院長	臨床研修指導医
フリガナ）カタクラ　ヒロミチ 姓）片倉　名）浩理	大津赤十字病院	副院長	臨床研修指導医
フリガナ）マツイ　マサル 姓）松井　名）大	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）カイタニ　カズアキ 姓）貝谷　名）和昭	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）フジタ　コウヘイ 姓）藤田　名）浩平	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）ミマ　タカヒロ 姓）美馬　名）隆宏	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）シモト　マナブ 姓）下戸　名）学	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）サイキ　マサアキ 姓）齊木　名）雅章	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）ヒロセ　テツロウ 姓）廣瀬　名）哲朗	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）イシトヤ　サトシ 姓）石戸谷　名）哲	大津赤十字病院	診療部長	臨床研修指導医
フリガナ）ツジ　マサル 姓）辻　名）勝	大津赤十字病院	事務部長	事務部門責任者
フリガナ）ハシゾエ　レイコ 姓）橋添　名）礼子	大津赤十字病院	看護部長	看護部門責任者
フリガナ）ウエダ　トヨミ 姓）上田　名）豊実	大津赤十字病院	薬剤部長	薬剤部門責任者
フリガナ）サカタ　トモヒロ 姓）阪田　名）智広	大津赤十字病院	人事課長	事務部門副責任者
フリガナ）ドイ　リュウイチロウ 姓）土井　名）隆一郎	大津赤十字志賀病院	大津赤十字志賀病院長	大津赤十字志賀病院研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）クリモト　フジキ 姓）栗本　名）藤基	医療法人藤樹会 滋賀里病院	滋賀里病院長	滋賀里病院研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）カワサキ　タク 姓）川崎　名）拓	滋賀医科大学医学部附属病院	医師臨床教育センター長	滋賀医科大学医学部附属病院 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）ヒラモト　シュウジ 姓）平本　名）秀二	医療法人平和の森 ピースホームケアクリニック	医療法人平和の森理事長 ピースホームケアクリニック院長	医療法人平和の森 ピースホームケアクリニック 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）アメノモリ　マサキ 姓）雨森　名）正記	医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック	理事長	弓削メディカルクリニック 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員

フリガナ）　バン　テツアキ 姓）阪　名）哲彰	高山市国民健康保険南高山 地域医療センター久々野拠点診療所	所長	久々野拠点診療所 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）　カワジリ　ヒロアキ 姓）川尻　名）宏昭	高山市国民健康保険南高山 地域医療センター高根地域診療所	所長	高根地域診療所 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）　シミズ　イクミ 姓）清水　名）育未	高山市国民健康保険南高山 地域医療センター朝日地域診療所	所長	朝日地域診療所 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）　シミズ　ヒロノリ 姓）清水　名）洋範	高山市国民健康保険清見診療所	所長	清見診療所 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）　クマダ　ヒロカズ 姓）熊田　名）裕一	高山市国民健康保険荘川診療所	所長	荘川診療所 研修実施責任者 研修管理委員会外部委員
フリガナ）　ナカムラ　ハジメ 姓）中村　名）一	滋賀県赤十字血液センター	滋賀県赤十字血液センター所長	研修管理委員会外部委員
フリガナ）　ハチリ　テツヤ 姓）八里　名）哲也	一般社団法人 滋賀県病院協会	事務局長	研修管理委員会外部委員

※１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「（No.　）」欄にページ数を記入すること。

１２．診療科ごとの入院患者・外来患者の数

様式Ａ－10別紙 2

臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院

病院施設番号　　：　030460

区　　分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は		精神科	病院で定めた必修科目の診療科			その他の研修を行う診療科															合計
							産科	婦人科					腎臓内科	呼吸器外科	小児外科	心臓血外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科	新生児科	眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科部	脳神経外科	総合診療科	病理診断科部	放射線科	
年間入院患者実数	18,479	5,760	1,732	0	1,561	1,081			0				417	172	135	133	1,153	510	54	1,072	267	1,124	450	426	50	0	0	34,576
救急件数又は分娩件数	0	25,235	0	0	0	356			0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,591
年間新外来患者数	17,197	19,475	1,312	27	7,458	1,296			497				644	189	220	288	3,514	2,497	2,007	1,649	522	1,828	1,987	1,965	413	0	2,528	67,513
１日平均外来患者数	446.9	53.4	92.3	0.9	72.7	55.6			18.5				51.3	6.5	6.6	5.9	72.4	57.1	44.5	73.0	8.6	65.8	50.9	24.0	4.5	0.0	49.2	
年間外来診療日数	242	365	242	242	242	242			242				242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	242	
平均在院日数	11.7		10.9	0.0	5.2	9.1			0.0				13.7	9.0	3.5	16.2	17.5	11.5	10.6	8.7	28.1	4.1	9.0	19.4	17.4	0.0	0.0	
常勤医師数	68	6	16	15	15	11			2				5	5	1	2	8	7	4	8	7	7	7	4	4	2	8	212
臨床研修指導医（指導医）数	24	2	9	5	5	2			1				3	3	1	1	5	2	1	1	3	1	2	3	2	1	3	80

※「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。

「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。

「救急件数」及び「分娩件数」とは、１１．の救急医療の実績の前年度の件数及び１５．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：	大津赤十字病院
病院施設番号：	030460

区　　分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は		精神科	病院で定めた必修科目の診療科			その他の研修を行う診療科			合計
							産科	婦人科								
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	別紙参照															
年間新外来患者数																
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数																
平均在院日数																
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）																

※　「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　6　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	内科	6	6	6	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7
京都大学医学部附属病院	内科	2	2	2	2				1	1	1	1	1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　7　年度分）														
								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院						
								病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	内科	8	8	8	8	7	7	7	6	6	6	5	5	5
京都大学医学部附属病院	内科					1	1	1	1	1	1	2	2	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　8　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	内科	9	9	9	9	9	8	9	8	7	7	8	8	7
京都大学医学部附属病院	内科	2	2	2	1	1	1		1	2	1	1	1	1
滋賀医科大学医学部附属	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　9　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	内科	9	9	9	9	9	8	9	8	7	7	8	8	7
京都大学医学部附属病院	内科	2	2	2	1	1	1		1	2	1	1	1	1
滋賀医科大学医学部附属	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　6　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	外科	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4
京都大学医学部付属病院	外科					1	1	1	1	1	1			

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　7　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	外科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
京都大学医学部附属病院	外科	1	1	1	1				1	1	1			

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　8　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	外科	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2
京都大学医学部付属病院	外科						1	1					1	1
滋賀医科大学医学部附属	外科				1	1			1	1				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　9　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	外科	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2
京都大学医学部付属病院	外科						1	1					1	1
滋賀医科大学医学部附属	外科				1	1			1	1				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　6　年度分）														
								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院						
								病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	救急科	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3
京都大学医学部附属病院	救急科					1	1	1				1	1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　7　年度分）									臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	救急科	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4
京都大学医学部附属病院	救急科	1	1	1	1	1	1	1						

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　8　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	救急科	4	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	4	4
京都大学医学部附属病院	救急科				1	1					1	1		
滋賀医科大学医学部附属	救急科	1	1	1			1	1						

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　9　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	救急科	4	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	4	4
京都大学医学部附属病院	救急科				1	1					1	1		
滋賀医科大学医学部附属	救急科	1	1	1			1	1						

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　6　年度分）														
								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院						
								病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	小児科	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2
京都大学医学部附属病院	小児科			1	1									

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　7　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	小児科	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2
京都大学医学部附属病院	小児科												1	1

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　8　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	小児科	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　9　年度分）								臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	小児科	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　6　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	産婦人科	1	1	1	1	1	2	1	1		1	2	1	1
京都大学医学部附属病院	産婦人科									1				
滋賀県立総合病院	産婦人科										1			
高島市民病院	産婦人科									1				

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　7　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
京都大学医学部附属病院	産婦人科				1									
滋賀県立総合病院	産婦人科								1					
高島市民病院	産婦人科						1							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　8　年度分）														
													臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院	
													病院施設番号：030460	
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
滋賀県立総合病院	産婦人科								1					
高島市民病院	産婦人科						1							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令和　9　年度分）									臨床研修病院の名称：　大津赤十字病院 病院施設番号：030460						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
大津赤十字病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
滋賀県立総合病院	産婦人科								1					
高島市民病院	産婦人科						1							

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030460006

病院施設番号： 030460　臨床研修病院の名称： 大津赤十字病院

臨床研修病院群番号：　臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		大津赤十字病院臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色		滋賀県下で最大の病床数を有し、様々な領域の研修認定施設である当院では、高度な医療と豊富な症例、充実した指導医数など、より良い環境の下でまなぶことができる。また、研修期間中は、研修目標修得のために院内で弾力的な運用を行えるよう各診療部との調整を図りながら研修を進める事が出来る。
3. 臨床研修の目標の概要		厚生労働省の基本指針に基づき、2 年間において研修医が修得すべき目標を履修出来るようにプログラム・カリキュラムを組んでいる。 また、高度救命救急センターを運営している特徴を生かして、救急医療について重点をおいた研修を行う。
４．研修期間		（　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
	備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 初期臨床研修を修了した後、内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、整形外科、放射線科、総合診療科の 9 つの基本領域において、日本専門医機構の認定する基幹施設として引き続き専門研修が行える環境にあり、それ以外の基本領域も、大学病院と連携を組んでいる。

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊ 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。
＊ 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。
＊ 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例） ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	030460	大津赤十字病院	24 週	2 週
	救急部門	030460	大津赤十字病院	12 週	
	地域医療	096969	大津赤十字志賀病院	4 週	一般外来 1.5 週 在宅診療　1 週
	外科	030460	大津赤十字病院	12 週	週
	小児科	030460	大津赤十字病院	8 週	1 週
	産婦人科	030460	大津赤十字病院	4 週	
	精神科	031711	滋賀里病院	4 週	
	一般外来	030460	大津赤十字病院	0 週	
病院で定めた必修科目					週
					週
					週
					週
					週
					週

	選択科目		030460	大津赤十字病院	36 週	週
			096969	大津赤十字志賀病院		
			056752	医療法人滋賀家庭医療学センター 弓削メディカルクリニック		
				医療法人平和の森 ピースホームケアクリニック		
			032821	高山市国民健康保険 荘川診療所		
				高山市国民健康保険南 高山地域医療センター 久々野拠点診療所		
			032824	高山市国民健康保険 清見診療所		
			032838	高山市国民健康保険南 高山地域医療センター 朝日地域診療所		
				高山市国民健康保険南 高山地域医療センター 高根地域診療所		
			030461	滋賀医科大学医学部附属病院		

備考

・一般外来を行う診療科・・・内科、小児科、地域医療

・在宅診療は地域医療研修中に週 2 日行う。

・1 週 5 日の研修日数を確保するため、年度毎の労働日数により、1 週間程度の研修期間の調整あり。

・選択科目は、標榜診療科の中から選択を可能としている。

・基幹型臨床研修病院での研修期間…最低 96 週

・臨床研修協力施設での研修期間…最大 4 週

・研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数…月 2～3 回

・救急部門(必修)における麻酔科の研修期間…救急部門とは別に 12 週を選択枠として設定

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030460	臨床研修病院の名称: 大津赤十字病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名:

６．研修スケジュール （一年次） 二年次：いずれかに○）　　プログラム番号 030460006

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１　　(No.1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5																																																
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科			3																																													
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科									3																																								
大津赤十字病院（030460）	内科	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
大津赤十字病院（030460）	外科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
大津赤十字病院（030460）	救急科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030460	臨床研修病院の名称: 大津赤十字病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名:

６．研修スケジュール（一年次・(二年次)：いずれかに○）

プログラム番号 030460006

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
大津赤十字病院（030460）	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
大津赤十字病院（030460）	小児科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1
大津赤十字志賀病院（096969）	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
滋賀里病院（031711）	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
大津赤十字病院（030460）	選択科目	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7	7	7	9	9	9	9

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること

様式Ａ－10別紙４
（No.　　1　　）

33．臨床研修指導医

病院施設番号：030460　　臨床研修病院の名称：大津赤十字病院

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
1	選択科目	泌尿器科部	小川　修	大津赤十字病院	病院長	大津赤十字病院	43	○	平成20年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定	30460005	3，4
2	選択科目	麻酔科部	篠村　徹太郎	大津赤十字病院	副院長	大津赤十字病院	39	○	平成17年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科指導医 保険医登録 日本集中治療医学会集中治療専門医 日本ペインクリニック学会認定医 日本麻酔科学会麻酔科専門医 日本ペインクリニック専門医	30460005	4
3	選択科目	麻酔科部	吉川　幸子	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	39	○	平成22年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科指導医 日本麻酔科学会麻酔科専門医	30460005	4
4	選択科目	整形外科部	青木　弥寿弘	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	39	○	平成21年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本医師会認定産業医 日本整形外科学会整形外科専門医 日本ＤＭＡＴ隊員 社会医学系専門医	30460005	4
5	内科	呼吸器内科部	酒井　直樹	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	38	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（滋賀県医師会主催）	修了	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器学会呼吸器指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 プライマリ・ケア認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本救急医学会インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ） 日本呼吸器学会フェクションコントロールドクター（ＩＣＤ） 日本医師会生涯教育認定医	30460005	4
6	外科	外科部	廣瀬　哲朗	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	37	○	平成19年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会認定医 日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医	30460005	4
7	外科	外科部	洲崎　聡	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	37	○	第１６回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	修了	日本外科学会外科専門医 日本外科学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 人間ドック健診情報管理指導士 日本乳癌学会乳腺専門医 人間ドック認定指定医 日本乳癌学会認定医 乳腺指導医認定証	30460005	4
8	内科	血液免疫内科部	塘　賢二郎	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	37	○	第2回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本血液学会血液専門医 日本血液学会血液指導医 細胞治療認定管理師 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本内科学会総合内科専門医 学会認定・自己血輸血責任医師 日本臨床腫瘍学会指導医 日本臨床微生物学会インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ） 日本輸血・細胞治療学会認定医	30460005	4
9	選択科目	麻酔科部	石井　孝広	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	37	○	第17回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科専門医	30460005	4
10	選択科目	健診部 消化器科部	西川　浩史	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	37	○	臨床研修指導医養成講習会（社団法人日本病院会）	修了	日本静脈経腸栄養学会ＴＮＴ 日本消化器病学会消化器病専門医 日本医師会認定産業医	30460005	4
11	内科	消化器科部	河南　智晴	大津赤十字病院	副院長	大津赤十字病院	37	○	平成17年度神戸市立中央市民病院新臨床研修指導医養成講習会 平成30年度プログラム責任者養成講習会	修了	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科専門医 プライマリ・ケア認定医 プライマリ・ケア連合学会認定指導医 日本消化器病学会指導医	30460005	1、4
12	内科	糖尿病内分泌内科部	谷口　孝夫	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	36	○	第1回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 日本糖尿病学会専門医 プライマリ・ケア認定医 プライマリ・ケア連合学会認定指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 日本静脈経腸栄養学会ＴＮＴ 日本人間ドッグ学会認定医	30460005	4
13	内科	脳神経内科部	松井　大	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	34	○	臨床研修指導医養成のためのワークショップ（金沢医科大学病院）	修了	日本認知症学会専門医 日本認知症学会指導医 日本神経学会神経内科専門医 日本神経学会認定医 日本内科学会認定内科医 プライマリ・ケア認定医 日本神経学会指導医 日本内科学会総合内科専門医	30460005	4

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験 年数	指導医講習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
14	選択科目	脳神経外科部	齊木　雅章	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	34	○	第1回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 日本脳卒中学会専門医 日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脊髄外科学会認定医 日本脳卒中外科学会技術指導医	30460005	4
15	選択科目	第一放射線科部	堀井　直敏	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	34	○	平成18年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本医学放射線学会放射線科専門医 日本ハイパーサーミア学会指導医 日本放射線腫瘍学会認定医 日本医学放射線学会研修指導者 放射線治療専門医 放射線科専門医（日本医学放射線学会／日本専門医機構）	30460005	4
16	内科	血液免疫内科部	國富　あかね	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	33	○	第８回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本血液学会血液専門医 日本血液学会血液指導医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 細胞治療認定管理師 日本医師会認定産業医	30460005	4
17	内科	循環器科部	貝谷　和昭	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	33	○	天理よろづ相談所病院臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会循環器専門医 日本不整脈学会－日本心電学会認定不整脈専門医	30460005	4
18	選択科目	新生児科部	中村　健治	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	33	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（滋賀県医師会主催）	修了	日本小児科学会認定医 日本小児科学会小児科専門医 一般社団法人日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Ａコース）インストラクター	30460005	4
19	選択科目	泌尿器科部	石戸谷　哲	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	33	○	第3回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定 日本内視鏡外科学会技術認定 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	30460005	4
20	選択科目	呼吸器外科部	片倉　浩理	大津赤十字病院	副院長	大津赤十字病院	33	○	第2回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本胸部外科学会認定医 日本気管支学会認定医 日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本ＤＭＡＴ隊員 日本呼吸器外科学会ロボット支援手術プロテクター認定	30460005	4
21	内科	消化器科部	近藤　雅彦	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	33	○	第2回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本超音波医学会認定超音波専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本肝臓学会肝臓指導医	30460005	4
22	内科	血液免疫内科部	辻　將公	大津赤十字病院	副院長	大津赤十字病院	33	○	第1回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本血液学会血液専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本血液学会血液指導医	30460005	4
23	内科	血液免疫内科部	竹岡　友晴	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	31	○	第11回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本血液学会血液専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内科学会認定内科専門医 プライマリ・ケア認定医 プライマリ・ケア連合学会認定指導医	30460005	4

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
24	選択科目	呼吸器外科部	庄司　剛	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	31	○	平成19年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会外科専門医 日本外科学会認定医 日本胸部外科学会認定医 日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本外科学会指導医 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本気管支学会指導医	30460005	4
25	選択科目	整形外科部	岡本　健	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	31	○	平成22年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本整形外科学会整形外科専門医	30460005	4
26	選択科目	形成外科部 皮膚科部	石河　利広	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	31	○	平成22年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本手外科学会手外科専門医 日本整形外科学会スポーツ医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本形成外科学会形成外科専門医 日本整形外科学会整形外科専門医 日本手外科学会認定手外科指導医	30460005	4
27	選択科目	麻酔科部	宇賀　久敏	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	31	○	平成19年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	日本麻酔科学会麻酔科指導医 日本麻酔科学会麻酔科専門医 麻酔科標榜医	30460005	4
28	外科	外科部	大江　秀明	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	30	○	第2回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 マンモグラフィ読影試験成績認定 検診マンモグラフィ撮影技術認定 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本臨床栄養代謝学会ＪＮＴ	30460005	4
29	選択科目	神経科部・精神科部	林　晶子	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	30	○	平成16年度京都大学医学部付属病院医師臨床研修指導医講習会	修了		30460005	4
30	外科	外科部	豊田　英治	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	30	○	第29回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	修了	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本医師会認定産業医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会指導医 日本膵臓学会認定指導医 日本外科学会指導医	30460005	4
31	選択科目	整形外科部	安良　興	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	29	○	第30回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本骨粗鬆症学会認定医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄外科専門医	30460005	4
32	選択科目	病理診断科部	白瀬　智之	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	29	○	平成20年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	修了	死体解剖資格認定 日本病理学会病理専門医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医	30460005	4
33	選択科目	腎臓内科部	古宮　俊幸	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	27	○	第18回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのワークショップ 平成26年度プログラム責任者養成講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本腎臓学会認定指導医 日本透析医学会専門医 日本透析医学会認定医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本老年医学会老年病専門医 日本老年医学会指導医 日本移植学会移植認定医 ＶＡ血管内治療認定医 腎代替療法専門指導士 血漿交換療法専門医 腎移植認定医 老年科専門医 リウマチ指導医 日本腹膜透析医学会認定医	30460005	4
34	内科	呼吸器内科部	西岡　慶善	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	27	○	第6回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本医師会認定産業医 日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 日本結核病学会インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ）	30460005	4
35	外科	外科部	濱洲　晋哉	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	27	○	臨床研修指導医養成講習会（社団法人日本病院会） 平成21年度プログラム責任者養成講習会	修了	日本救急医学会救急科専門医 日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定（消化器・一般外科） 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター認定 日本内視鏡外科学会ロボット支援技術プロクター認定（直腸・結腸）	30460005	4

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
36	選択科目	新生児科部	松倉　良香	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	26	○	第5回東京女子医科大学病院指導医講習会	修了	日本小児科学会小児科専門医	30460005	4
37	産婦人科	産婦人科部	藤田　浩平	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	26	○	第18回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	修了	日本産科婦人科学会産婦人科専門医 一般社団法人日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 日本抗加齢医学会日本抗加齢医学会専門医 母体保護法指定医 女性ヘルスケア暫定指導医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度周産期専門医（母体・胎児）代表指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 ロボット（ｄａＶｉｎｃｉＸｉ）術者認定医	30460005	4
38	内科	血液免疫内科部	水本　智咲	大津赤十字病院	診療副部長	大津赤十字病院	25	○	第29回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	修了	日本内科学会認定内科医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本血液学会血液専門医 造血細胞移植認定医	30460005	4
39	外科	外科部	伊藤　達雄	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	25	○	島根県臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会指導医選定 日本外科学会外科専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	30460005	4
40	内科	循環器科部	陣内　俊和	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	25	○	第4回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本内科学会ＪＭＥＣＣインストラクター	30460005	4
41	内科	循環器科部	小山田　尚史	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	25	○	第8回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医	30460005	4
42	選択科目	耳鼻咽喉科・頭頸部外科部	嘉田　真平	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	25	○	第30回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	修了	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指導医 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医 日本内分泌外科学会内分泌外科専門医	30460005	4
43	選択科目	小児外科部	山田　弘人	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	25	○	香川大学医学部付属病院卒後臨床研修指導医養成講習会(第九回)	修了	日本小児外科学会小児外科専門医 日本外科学会外科専門医	30460005	4
44	小児科	小児科部	美馬　隆宏	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	24	○	第17回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本小児科学会小児科専門医 日本小児循環器学会小児循環器専門医	30460005	4
45	小児科	小児科部	田中　孝之	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	23	○	第27回小児科医のための臨床研修指導医講習会	修了	日本アレルギー学会専門医 日本小児科学会小児科専門医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 小児科学会認定小児科指導医 日本アレルギー学会指導医	30460005	4
46	内科	脳神経内科部	今村　久司	大津赤十字病院	診療部長	大津赤十字病院	23	○		修了	日本神経学会認定医 日本神経学会指導医 日本てんかん学会てんかん専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本臨床神経生理学会専門医	30460005	4
47	内科	消化器科部	青山　育雄	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	23	○	第17回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ 令和4年度プログラム責任者養成講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本食道学会食道科認定医 日本消化器病学会指導医	30460005	4
48	選択科目	新生児科部	内山　環	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	22	○	第31回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本小児科学会小児科専門医 一般社団法人日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Ａコース）インストラクター	30460005	4
49	選択科目	整形外科部	板倉　慎	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	22	○	第34回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会リウマチ医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医	30460005	4
50	外科	外科部	平井　健次郎	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	22	○	第20回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本外科学会指導医 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定（消化器・一般外科） 日本ロボット外科学会ＲｏｂｏｎＤｏｃＰｉｌｏｔ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本外科感染症学会インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ） 日本食道学会食道科認定医	30460005	4
51	選択科目	総合診療科部 血液免疫内科部	内山　達樹	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	22	○	第8回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会 令和2年度プログラム責任者養成講習会	修了	日本医師会認定産業医 日本内科学会認定内科医 日本血液学会血液専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本血液学会血液指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内科学会ＪＭＥＣＣインストラクター 日本専門医機構特任指導医 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医 日本造血・免疫細胞療法学会認定医	30460005	2、4
52	選択科目	眼科部	額田　正之	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	22	○	第8回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本眼科学会眼科専門医	30460005	4

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
53	内科	血液免疫内科部	森　美奈子	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	21	○	第12回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本血液学会血液専門医 日本血液学会血液指導医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本造血・免疫細胞療法学会認定医	30460005	4
54	内科	呼吸器内科部	高橋　珠紀	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	21	○	第31回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本医師会認定産業医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本内科学会認定内科医 日本アレルギー学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器学会呼吸器指導医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医	30460005	4
55	選択科目	第二放射線科部	川原　清哉	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	21	○	第20回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本医学放射線学会放射線診断専門医	30460005	4
56	外科	外科部	喜多　貞彦	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	21	○	第24回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本再生医療学会再生医療認定医 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医 ロボット（ｄａＶｉｎｃｉＸｉ）アシスタント認定医	30460005	4
57	救急科	救急部	永田　靖	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	20	○	第4回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本ＤＭＡＴ隊員 日本救急医学会救急科専門医	30460005	4
58	小児科	小児科部	赤杉　和宏	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	20	○	第8回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本小児科学会小児科専門医 小児科学会認定小児科指導医	30460005	4
59	外科	外科部	北口　和彦	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	20	○	第8回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会指導医 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医 日本外科学会指導医 日本膵臓学会認定指導医 日本外科感染症学会インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ） ロボット（ｄａＶｉｎｃｉＸｉ）術者認定医 日本ロボット外科学会Ｒｏｂｏ－ＤｏｃＰｉｌｏｔ	30460005	4
60	選択科目	形成外科部	松浦　喜貴	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	20	○	平成26年度浜松医療センター臨床研修指導医養成講習会	修了	日本形成外科学会形成外科専門医 日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本形成外科学会小児形成外科分野指導医 日本口蓋裂学会口唇裂・口蓋裂認定師（形成外科分野） 日本創傷外科学会専門医	30460005	4
61	救急科	救急部	下戸　学	大津赤十字病院	部長	大津赤十字病院	20	○	第22回京都大学医学部付属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本救急医学会救急科専門医	30460005	4
62	選択科目	耳鼻咽喉科・頭頸部外科部	森田　真美	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	20	○	第10回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 耳鼻咽喉科専門研修指導医	30460005	4
63	内科	糖尿病内分泌内科部	藤田　直尚	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	20	○	第11回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本糖尿病学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会研修指導医	30460005	4
64	選択科目	呼吸器外科部	高橋　守	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	19	○	第12回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会外科専門医 日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医	30460005	4
65	選択科目	腎臓内科部	近藤　麻紀子	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	19	○	第9回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本腎臓学会腎臓専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本透析医学会専門医	30460005	4
66	内科	消化器科部	佐久間　洋二朗	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	19	○	第35回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会	修了		30460005	4
67	内科	消化器科部	北見　元哉	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	19	○	第11回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	30460005	4
68	選択科目	第二放射線科部	百々　俊樹	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	19	○	第32回日本赤十字社臨床研修指導医講習会	修了	日本核医学会核医学専門医 日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本医学放射線学会研修指導者	30460005	4
69	内科	循環器科部	東谷　暢也	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	18	○	第35回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本内科学会認定内科医 腹部ステントグラフト実施医 日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 心血管カテーテル治療専門医 日本高血圧学会高血圧専門医	30460005	4
70	内科	循環器科部	小倉　沙梨	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	17	○	令和2年度医師臨床研修指導医講習会	修了	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医	30460005	4
71	小児科	小児科部	石塚　潤	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	17	○	第10回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本小児科学会小児科専門医	30460005	4
72	産婦人科	産婦人科部	多賀　敦子	大津赤十字病院	副部長	大津赤十字病院	16	○	第9回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 一般社団法人日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医	30460005	4
73	選択科目	心臓血管外科部	近藤　康生	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	14	○	第10回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本外科学会外科専門医 心臓血管外科専門医	30460005	4
74	小児科	小児科部	末廣　穣	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	13	○	第33回小児科医のための臨床研修指導医講習会	修了		30460005	4
75	選択科目	麻酔科部	岸本　佳矢	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	12	○	第12回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科専門医 日本麻酔科学会麻酔科認定医 日本ペインクリニック専門医	30460005	4
76	選択科目	総合診療科部	田丸　大	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	10	○	第12回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了	日本専門医機構特任指導医 日本内科学会認定内科医 日本プライマリ・ケア連合学会認定専門医 プライマリ・ケア連合学会認定指導医 プライマリ・ケア認定医 日本専門医機構総合診療専門医	30460005	4

	区分	診療科	氏名	所属	役職	所属	臨床経験 年数	指導医講習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等			プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医
77	内科	循環器内科	冨岡　大資	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	10	○	第３１回MMC・第18回三重大学医学部附属病院合同指導医養成講習会	修了	日本循環器学会循環器専門医 ビンダケル導入医師 日本内科学会認定内科医	30460005	4
78	選択科目	腎臓内科部	市岡　光洋	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	10	○	第10回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了		30460005	4
79	選択科目	皮膚科部	古田　浩大	大津赤十字病院	医長	大津赤十字病院	9	○	第35回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	修了	日本皮膚科学会皮膚科専門医 弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター認定証	30460005	4
80	選択科目	総合診療科部 血液免疫内科部	髙木　梨恵	大津赤十字病院	医師	大津赤十字病院	8	○	第10回滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会	修了		30460005	4

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

様式Ａ－10別紙５

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：大津赤十字病院　　（ 滋賀県 ）

研修プログラムの名称：大津赤十字病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働（年単位換算）最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働（年単位換算）前年度実績	C-1水準適用
大津赤十字病院	030460	基幹型	滋賀県	950時間	月1～2回　宿日直許可あり	約730時間 対象となる研修医31名(2024年度)	無
		協力型					
		協力型					
		協力型					
		協力型					
		協力型					
		協力型					
		協力型					
		協力型					

※　年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
　　研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※　該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、Ｃ－１水準適用の状況を記入すること。

※　最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※　臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、Ａ水準又はＣ－１水準しか適用されないことに留意すること。